

令和元年度 神戸文化ホールの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	2,043人収容の大ホール、904人収容の中ホールを中心にリハーサル室、練習場をあわせもつ神戸文化ホールは、市民の文化の向上及び福祉の増進を図るために設置されたものであり、神戸市の文化拠点施設としての役割と公共ホールとしての役割を担っている。
(2)指定管理者	公益財団法人神戸市民文化振興財団
(3)指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
(4)R1市支出額(単位:円)	協定締結額 141,297,000円 決算額 141,297,000円

2. 管理運営に対する履行確認内容

<p>1.管理運営内容について</p> <p>(1)管理実施状況</p> <p>①施設の維持管理業務</p> <p>設備管理、清掃、警備業務など文化ホールの日常の管理運営業務を実施したほか、設備機器等の法令点検や定期点検を実施。故障への迅速な対応と見積り合せ実施による費用削減、詳細な修繕記録の整備を実施。</p>
<p>2.施設の運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 大ホール299日、中ホール300日、練習室259日 ※舞台機構電気系部品改修工事のため、2月10日～2月28日まで大・中ホールを休館 ※外壁改修工事のため、1月1日～3月31日まで練習室を休館 ・ホール・練習室等の貸館の運営業務()は昨年度実績 ホール利用件数:598件(453件)、ホール入場者数:415,333人(384,047人) 練習室利用件数:2,524件(3,405件)、利用人数:42,621人(59,726人) ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供 ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営 ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援 ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営
<p>3.事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業 48事業、83公演、入場者 58,010人 ※新型コロナウイルスにより7公演が中止又は延期、1公演が無観客公演(30年度:44事業、71公演、入場者40,118人 29年度:65事業、118公演、入場者71,945人 28年度:68事業、130公演、入場者66,485人) (1)芸術創造・発信事業 21事業 28公演 <ul style="list-style-type: none"> 1)神戸市室内合奏団及び神戸市混声合唱団による創造・発信 2)地元芸術文化団体との協働による創造・発信 3)TV局やラジオ局と連携事業 4)神戸のアーティストの力を集結したオリジナル企画公演 (2)教育普及・育成事業 11事業 22公演 <ul style="list-style-type: none"> 1)若手アーティスト・人材育成 2)文化芸術を担う人材育成 3)教育普及 4)アウトリーチ (3)鑑賞・学習事業 16事業 33公演
<p>4.その他活動について</p> <p>1)アートプロジェクト KOBE 2019:TRANS- (TRANS-KOBE) の開催</p> <p>「世界に神戸を発信」し、「アートで人の賑わいをつくり地域を活性化する」ことを目的に、兵庫区南部、長田区南部エリアを舞台に、世界的に活躍する現代アートの作家2人(グレゴール・シュナイダー、やなぎみわ)を招聘し現代アートを中心とした展覧会を開催した。</p> <p>2)ベートーヴェン・チクルス開催</p> <p>ベートーヴェン生誕250年の節目の年にあたり、神戸文化ホール等において、ベートーヴェンの全交響曲・全協奏曲を演奏するコンサートをシリーズ化し、令和2年度と併せて計7回・9公演を開催予定。令和元年度は11月・1月に2公演を実施し、神戸室内管弦楽団、神戸市混声合唱団のほか、国内外より著名な指揮者、ソリストによる神戸ならではの音楽を発信 ※新型コロナウイルスの影響により2公演(3月)は延期。</p> <p>3)村田沙也加 × 松井周 inseparable 新作公演「変半身(かわりみ)」開催公立文化施設として先駆的な取り組みで実績を高めている他都市(ロームシアター京都、三重県文化会館、東京芸術劇場)と連携して企画・製作公演を手掛け、新たなネットワークを築きながら神戸文化ホールの活動を全国に向けて発信する端緒とした。市立図書館との協力企画や松井周のワークショップでは阪神間の大学演劇サークルとも交流した。</p>

5. 令和元年度の利用状況

		31年度	30年度	29年度	28年度	27年度
大・中ホール入場者数		41.5万人	38.4万人	48.9万人	50.3万人	51.7万人
利用率	大ホール	75.9%(66.0%)	87.1%(77.4%)	94.4%(83.8%)	88.6%(79.8%)	88.5%(78.8%)
	中ホール	70.3%(65.3%)	92.7%(84.3%)	94.2%(85.1%)	89.8%(81.2%)	86.0%(75.1%)
利用件数	大ホール	299件	201件	298件	296件	310件
	中ホール	299件	252件	267件	298件	295件
練習場	利用人数	4.3万人	6.0万人	6.2万人	6.0万人	5.8万人
	利用率	96.0%(77.7%)	95.5%(80.1%)	97.0%(83.7%)	97.6%	96.6%
	利用件数	2,524件	3,405件	3,436件	3,467件	3,430件

※()内は、実利用率

- ・大・中ホール舞台機構電気系部品改修の為、休館。R2年2月10日～2月28日 16日間(保守日除く)
- ・練習室外壁工事による休館。R2年1月1日～3月31日 80日間(保守日除く)
- ・新型コロナウイルスによるキャンセルの増加。R2年3月3日～3月31日 26日間(保守日除く)
※1月～3月における大・中ホールの利用者数は昨年比で2.6万人減、利用件数は16件減
- ・3月3日～3月31日を除く、開館日における1日あたりの利用者数は753人(昨年度の1日あたりの利用者数は694人)
- ・大、中ホールの利用内訳は音楽:13万人、舞踊・演劇が11.3万人、演芸等が2.7万人、大会行事等14.5万人。

6. 収支について

- ・利用料金収入 211,068,609円(工事休館補償及びコロナによるキャンセル料規程に基づく補填別途12,506,448円)
30年度193,857,465円(大ホール休館に伴う営業補償別途29,153,912円)
- ・30年度比 +17,211千円
休業補償反映後で比較すると、30年度比 +563千円、目標比 +20,575千円
- ・全体収支
収入(指定管理料、利用料金収入等)389,540,327円、支出(施設管理費、人件費等):369,085,649円、収支差:20,454,678円。

7. 行動指針に対する対応

- ①神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団の質の高い演奏や、海外演奏家の招聘公演を実施することで、魅力的な芸術文化事業の創造・発信を行う
→ベートーヴェンの全交響曲・協奏曲を演奏する「ベートーヴェン・チクルス」では、国内外より著名な指揮者・ソリストを招聘、演奏会を開催。
- ②神戸市の小学校等へのインリーチ・アウトリーチ事業を積極的に展開し、情操教育に努めるとともに、次代を担う芸術家を支える環境を整備するための普及啓発や若手芸術家の活動支援に努める
→次代を担う子供たちに対する鑑賞機会提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」、6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業」に取り組んだ。
- ③地元芸術団体や地元出身の芸術家とのコラボレーション企画を積極的に実施するほか、優れた創作活動を発信している他都市ホールとの連携を積極的に図ることで、質の高い公演を実施する
→他館との連携で芥川賞作家(村田紗耶香)と岸田賞作家(松井周)の協同創作による現代演劇「変半身(かわりみ)」公演に取り組んだ。
- ④来場者が気持ちよくホールを利用できるよう、整理整頓され、清潔な空間づくりを行う
→市と連携して、屋上防水工事の実施やトイレ改修に向けた準備など老朽化した施設・設備の改修に取り組んだ。
- ⑤情報を適切に管理し、法令を遵守した公平・公正な運営を行う
→多種多様な芸術文化活動を広く紹介する為「KOBE C情報」の発行とともに、ホームページ、SNS等も活用し情報を発信した。

3. 利用者の満足度調査等

	元年度の状況
①満足度調査の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者アンケート(31年4月から令和2年1月の19事業で集計) 回答数2,065/10,792件 回答率19.1% 自主事業の入場者に、会場、職員の対応、公演内容等について、5段階評価で実施 ・貸館利用者アンケート 回答数103/279件 回答率36.9% 貸館の利用者に施設、職員の対応等について、5段階評価で実施 ・友の会アンケート(R1年2月実施) 回答数330/1,224件 回答率26.9% 友の会会員を対象に、会員特典、プレイガイドの対応等についてアンケートを実施
②満足度調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者アンケート ()内は昨年度実績 会場全体 大変よかった・よかった73.1%(64.2%) 普通21.2%(30.3%) 職員の対応 大変よかった・よかった70.9%(66.4%) 普通28.2%(32.7%) 公演内容 大変よかった・よかった96.2%(95.2%) 普通3.3%(3.5%) ・貸館利用者アンケート ()内は昨年度実績 施設全般 良い・概ね良い79.4%(75.5%) 普通17.5%(21.6%) 利用受付の対応 良い・概ね良い88.0%(91.2%) 普通11.0%(8.82%) ホール案内の対応 良い・概ね良い88.3%(91.8%) 普通8.5%(7.2%) ・友の会アンケート ()内は昨年度実績 会員特典について このままでよい79.4%(78.4%) プレイガイドの対応 大変満足・満足82.4%(80.2%) 普通16.5%(16.3%)
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・楽屋トイレが和式であったり、古く異臭がする。→令和2年度に楽屋トイレについて大規模な改修工事(洋式化等)を予定。 ・リハーサル室バレーマットが古く起伏が激しく使用に耐えない。→新たにリノリウムを購入

4. 選定評価委員会の評価

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で利用人数の制限などがかかっているが、安全性に留意して運営してほしい。
- ・公演内容や他都市との連携実績を見ると、魅力的で良い取り組みを行っているように思う。
- ・利用者アンケートの回収枚数はもう少し増やしてほしい。またアンケートを公演、演目ごとに取り入れることで、公演内容をより良いものにしてほしい。